

レポート作成について

教授 濱本 正太郎
shotaro@kobe-u.ac.jp
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~shotaro/>

講義要綱に示したとおり、成績評価の対象とする。

目標

- ・「国際紛争と法」で扱われる範囲の問題について、さまざまな情報を適切・明確に文章で整理する。
- ・国際法に関する問題について、自らの意見を形作り、それをわかりやすい文章で表現する。

テーマ設定

レポート3本につき、同一のテーマを受講生自ら設定する。テーマ設定にあたっては、必ず濱本に一度は相談し、かつ同意を得ること。テーマ設定に関する相談は、授業の前後におよび e-mail で受け付ける。

「国際紛争と法」で取り扱う問題を選ぶ。紛争処理法・安全保障法・武力紛争法と何らかの形で関係してればよい。

ある程度具体的なテーマを設定すること。たとえば、「国際法とイラク戦争」ではなく、「イラク戦争において米英豪が安全保障理事会の新たな決議なしに武力行使を行ったのは違法か」、あるいは、「イラク戦争において民間施設に被害が発生していることは国際法上どのように評価されるか」という程度にまで絞り込む必要がある。

テーマ設定の期限は 10 月 30 日(月)の講義開始時とする。

内容

1 本目

設定したテーマに関する論文を 1200 字程度に要約する。論文の選択にあたっては、教員に相談し、同意を得ること。相談する前に、法学部 HP の「研究学習資源」にある

「法学部生のための文献資料の探し方」を参考にしつつ自ら探しておくことが望ましい。

論文選択の期限 11月13日(月)の講義開始時

レポート提出期限 11月20日(月)の講義開始時

2本目

1本目とは異なる論文で、やはり設定したテーマに関するものを取り上げる。1200字程度に要約し、400字程度の批評をつける。論文の選択にあたっては、同様に教員に相談し、同意を得ること。

論文選択期限 12月4日(月)の講義開始時

レポート提出期限 12月18日(月)の講義開始時

3本目

設定したテーマにつき、自らの見解を述べる。4000字以上1万字以内とする。

国際法に基づく理由付けが適切になされているかどうか、および、文章表現が明晰かどうか、の2点を評価の対象とする。上記の範囲内であれば、字数の多寡は評価の対象とならない。

レポート提出期限 1月22日(月)の講義開始時

提出方法

E-mailで添付ファイル（Wordまたは一太郎）として送付しても、印刷したものを提出しても良い。印刷したものを提出する場合は、教務係に提出すること。

再提出

合格点に達しない場合、あるいは、さらに評価を上げることが可能である場合には、再提出を勧めることがあり得る。その場合、再提出の期限はその都度指示する。

必読書

以下の2冊をこれまでに読んだことがなければ、必ず熟読しておくこと。

本多勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫）

木下是雄『理科系の作文技術』（中公新書）